

2025 年 11 月 20 日

受賞のご挨拶

代表取締役社長 富山 泰

このたび、発明協会総裁であられる常陸宮正仁親王殿下のご高配を賜り、関東地方発明表彰「発明奨励賞」を拝受いたしましたこと、誠に光栄の至りに存じます。

当社が長年にわたり培ってまいりました製剤技術をご評価いただけましたことは、日々研鑽を重ねる社員の努力の結晶であるとともに、長野県薬剤師会をはじめ地域の皆様、本製剤の治験にご協力いただいた皆様など、関係各位のご指導とご支援の賜物であり、ここに謹んで御礼申し上げます。

本発明は「患者さまの日常を少しでも楽にしたい」という思いを最優先に、現場のニーズを踏まえて着想・開発してまいりました。私自身も研究に携わり、数多くの試行錯誤と評価を重ねてきた成果をご評価いただけたことを、心より嬉しく存じ上げます。

医療用医薬品分野の特許は、上市までの開発期間も長く、また 1 つの特許で 1 つの製品をカバーすることが多いため、受賞は極めて困難です。製剤技術に限れば、平成から令和にかけての約 36 年間で、本賞を含めわずか 3 件のみが関東地方発明表彰を受賞しております。今回の受賞は、令和になって初めての快挙であり、平成 17 年度にアステラス製薬様、平成 30 年度に東レ様が受賞して以来、実に 7 年ぶりの受賞となります。他の産業、例えば電気や機械では、1 つの製品に複数の特許が存在することも多く、その点で医薬品分野とは受賞頻度に違いがございます。そうした状況下で今回の受賞に至ったことは、当社の技術力と研究姿勢を改めて示すものと考えております。

審査員の皆様から頂戴したご期待に応えるべく、早期の社会還元に努めるとともに、今後も「患者さまに寄り添う薬づくり」を理念に、製剤技術の研究開発を一層推進してまいります。

製剤開発部長 池田 誠一郎

このたび、関東地方発明表彰において『発明奨励賞』を賜りましたこと、共同発明者として大変光栄に存じます。

本発明は、患者さまの視点に立ち、特に高齢化社会の進展を踏まえた服用性の向上を目的として開発した製剤技術です。弊社社長の先見性と的確なリーダーシップのもと、多くの試行錯誤を重ねて実現したものであり、企業としての社会的使命を具体化した成果と考えております。

今回の受賞については、社長のご指導のもと取り組んだ研究開発の成果が広く評価されたものであり、深い喜びとともに大きな励みとなりました。また、社内外の多くの方々のご支援をいただきながら、取り組んできた結果でもあり、関係各位に心より感謝申し上げます。

今後も創意工夫をもって製剤技術の開発を継続し、より多くの方々の生活の質向上に寄与できるよう努力してまいります。

副主任研究員 永井 涼太

このたびは、関東地方発明表彰『発明奨励賞』という栄誉ある賞を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。

このような名誉ある表彰をいただけましたのも、日頃より温かいご支援・ご指導を賜っております皆様、そして地域の皆様のお力添えのおかげであり、心より深く感謝申し上げます。

今回表彰いただいた技術は、医薬品の服用性を向上させることを目的として開発したものであり、患者さまの負担軽減と服薬継続率の向上に寄与することを目指したものです。利用者の視点を取り入れながら改良を重ねてきた成果が、このような形で評価されたことは、今後の技術開発への大きな励みとなります。

本受賞を励みに、今後も技術の研鑽に努め、より一層社会に貢献できる発明・開発を目指してまいります。



写真左から

総合研究所製剤開発部長

池田 誠一郎

代表取締役社長

富山 泰

製剤開発部副主任研究員

永井 涼太

※令和7年度関東地方発明表彰(主催:公益社団法人発明協会)の表彰式が茨城県・水戸市民会館にて執り行われました。